

# 日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発 行 所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局 〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1  
金沢医科大学医学部衛生学講座 TEL 076-218-8101 FAX 076-218-8214 発行責任者：地方会長 櫻井 勝



注釈：夏の宵富士に浮かぶ登山者の灯 （新道峠） 遠藤欣也氏 撮影

## 巻 頭 言



### 猛暑と制度改正の夏に

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会  
山梨県常任理事

小林 正洋

本年、日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会が、8 年ぶりに山梨の地で開催される運びとなりました。当番事務局長として、皆様をこの地にお迎えできることを心より嬉しく思います。前日企画もご用意しておりますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

さて、今年の夏は例年以上に厳しい暑さが続いております。各地で 40 度を超える猛暑日が記録され、歴代の

最高気温が次々と更新されました。職場における熱中症対策の義務化は、気候変動の影響を受ける現代において、働く人々の安全と健康を守るための重要な制度的進展です。炎天下の中、道路工事現場で交通整理に従事される方々の姿を目にするたび、働く人々の尊さと、産業保健の使命の重みを改めて実感いたします。

「すべての働く人に産業保健の光を」——このテーマは、まさに今の社会に必要な視座であり、私たちの背筋を正す言葉であると感じています。

また本年は、10 年ぶりに労働安全衛生法および作業環境測定法の一部が改正されました。精神障害による労災支給件数の増加を背景に、50 人未満の事業場にもストレスチェックの義務化が導入されることとなり、今後地域産業保健センターへの相談件数の増加が予想されます。付帯決議では「相談しやすい環境整備」や「メンタルヘル스에 知見のある医師の確保」が求められており、制度の実効性を高めるための現場対応が急務となります。山梨県の産業構造は、99%以上が中小企業で構成されており、この新たな制度の担い手を誰が務めるのかという課題は、重要かつ喫緊のテーマです。私たちは、現場の声に丁寧に耳を傾けながら、制度の実効性を高める取り組みに真摯に向き合ってまいりたいと考えております。

## 北 陸 甲 信 越 地 方 会 長 就 任 挨 拶



日本産業衛生学会北陸甲信越地方会長  
金沢医科大学医学部衛生学講座 特任教授

櫻井 勝

本年 3 月より、野見山哲生前地方会長に代わり、北陸甲信越地方会長を務めています。どうぞ宜しくお願いいたします。

北陸甲信越地方会は、昭和 27 年から新潟医科大学赤崎兼義教授、昭和 31 年から新潟大学の渡辺厳一教授を地方会長として活動としてきたものを、昭和 33 年信州大学の小松富三男教授を地方会長とし、創立総会を開催し、正式に発会した信越北陸地方会に源を発します。昭和 47 年に山梨県が加わり北陸甲信越地方会となり、新潟、山梨、長野、富山、石川、福井の 6 県での活動が続いています。地理的な制約はあるものの、地方会総会を通じて情報共有や意見交換を重ね、本年で第 68 回を迎えるに至りました。この歴史ある地方会の会長を拝命し、大変光栄に思うとともに、全力で務めてまいります。

さて、日本産業衛生学会は 2027 年の第 100 回学会、2029 年の設立 100 周年に向けて、「5 つの項目」にわたる 14 の重点活動事項を掲げています。すべての働く人を対象とした産業衛生推進の「基盤」の整備、社会変化に対応する「学術活動」、その知見・エビデンスの「発信」・政策提言、エビデンスに基づく学際的協働による「実践活動」、研究や実践を担う「人材の育成」です。地方会としても、この重点項目に沿った活動展開が求められています。

当地方会では、地方会総会が研究成果や実践活動の発表・意見交換の主な場となります。また、この学会報という情報交換のツールがあります。学会員の方々にはメールアドレスの登録をお願いしましたが、メールを活用した情報提供も始まっています。これらを基盤に、産業保健に関する皆様が、すべての働く人に産業保健サービスを届けられるよう、学び多き地方会を目指しています。魅力ある活動は人材育成や地方会員の増加にもつながると思っています。

地方会の発展には会員の皆様のご協力が不可欠です。活動に関して忌憚のないご意見を賜りながら、共に歩んでいければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 名 誉 会 員 就 任 報 告



## 日本産業衛生学会名誉会員に就任して

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会理事  
金沢医科大学名誉教授・衛生学講座客員教授  
YKK グループ統括産業医

中川 秀昭

今年 6 月に仙台で開催された第 98 回日本産業衛生学会にて名誉会員に就任いたしました。ひとえにご推薦いただいた野見山前地方会長並びに櫻井現地方会長のご尽力、ならびに地方会会員の皆様のご支援のおかげと厚く感謝しています。

私は 1975 年に金沢医科大学公衆衛生学教室に入局して以来、50 年間衛生・公衆衛生学の道を歩んで参りました。当初から循環器疾患の疫学研究をめざしていましたが、最初の仕事は富山県黒部保健所（現新川保健所）管内に集積していた季節出稼ぎ者のけい肺患者の掘り起こしでした。彼らは農閑期に主に黒部川電源開発のダム工事、発電所工事に従事しており、下請け、3 次請けなどの零細企業出稼ぎで働いていたために、出稼ぎ中は産業保健対策を受けうることができずにいました。一部が結核住民健診を受けて粟粒結核として結核公費負担申請が行われたことでけい肺が明らかになりましたが、多くが未発見のままになって何らの対策も立てられていませんでした。季節出稼ぎ者であったが故に産業保健の恩恵に被ることができず、けい肺は職業病であるために、地域保健の対象にもならず放置されていましたが出稼ぎけい肺患者を一人一人掘り起こし、労災申請を行うとともに、申請できなかった人たちを 30 年にわたって健康管理を実施しました。この調査研究で得られた考えや成果は私の産業保健の原点となっています。

その後黒部地域に工場を展開していたファスナー、アルミサッシ製造工場である YKK の健康管理を金沢医科大学能川教授（現千葉大学名誉教授）のご指導の下担うことになりました。富山大学名誉教授の鏡森先生のご指導を受けて、YKK 従業員を対象とした 2 つの国際共同研究（INTERSALT 研究、INTERMAP 研究）にも参加し、厳密な疫学研究調査法を学びました。また、退職後の追跡を目指した職域コホートを滋賀医科大学教授三浦先生の働きもあり、立ち上げることができました。現在では我が国の有数なコホート研究の一つとして櫻井特任教授を中心に研究が続けられています。

私は金沢医科大学公衆衛生学では加藤教授、河野教授のご指導を受けるとともに、取り組んだ多くの共同研究の中で自治医科大学名誉教授柳川先生、和歌山医科大学名誉教授橋本先生、滋賀医科大学名誉教授上島先生他多くの先生、多くの先生方のご指導を受けて今日まで来ることができました。深く感謝しています。

また、平成 23 年～平成 28 年まで 6 年間本会地方会長として働くことができました。非力な私ですが、野見山先生をはじめ多くの先生方のお世話になり、曲がりなりにも務めることができました。地方会の会員の方々にご迷惑をおかけしたのではないかと気がかかっています。平成 26 年には第 24 回産業医・産業看護全国協議会企画運営委員長も務めることができました。これらは会員の方々のご協力の賜です。厚く御礼申し上げます。

最後に日本産業衛生学会、北陸甲信越地方会の益々のご発展を祈念するとともに、会員の皆様のご健勝とご活躍を期待しています。



## 学 会 賞 受 賞 報 告



## 学会賞を受賞して

日本産業衛生学会理事  
信州大学医学部衛生学公衆衛生学教授

野見山 哲生

この度、日本産業衛生学会学会賞を受賞しました。1992年に産業医科大学を卒業し、慶応大学の大学院生を振り出しに、自らの礎を築いた慶応大学、ルーバンカトリック大学での10年間、信州で研究テーマを開拓、発展させてきた23年間、一貫して産業保健領域の研究と実践に取り組んできました。その基軸となる、有害化学物質の健康影響評価を実験手法・疫学手法により行ってきた研究の成果に対し、学会賞を授与いただきました。非才浅学の身ながら受賞できたことは、大変な名誉であると感じると共に、ひとえに支えてくださった師、先輩・仲間達、信州大学の同僚の皆さんのご支援のおかげと感謝しております。

これからは、学会の更なる発展と、研究者や実践者が育っていける環境を整備することに、自らのエネルギーを注ぎたいと思います。また、小規模の事業所に、未だ十分届いていない産業保健の光が燦々と当たるよう、そして、化学物質の健康影響に関する研究が隅々まで活きるよう、もうひと踏ん張り、関わりのある皆さんと協力し、力を尽くしたいと思います。

末筆ながら、本地方会の皆さんの益々のご発展を祈念します。

## 総会表彰の写真



中川秀昭先生



野見山哲生先生

**第 68 回北陸甲信越地方会（山梨）開催告知**

第 68 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会は、下記の通り開催予定です。  
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、本年度は学会運営の効率化、予算の都合上、講演会要旨集はホームページ上の公開のみとさせていただきますのでご承知おきください。

**第 68 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会**

開催日時：2025 年 10 月 26 日（日曜日） 10：00 ～ 15：35（予定）

開催場所：甲府市歴史文化交流施設 「こうふ亀屋座」（山梨県甲府市丸の内 1 丁目 11-5）

学 会 長：鈴木昌則（山梨県医師会長）

主 催：日本産業衛生学会北陸甲信越地方会

共 催：山梨県医師会、山梨県産業保健総合支援センター

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会産業医部会・産業看護部会  
産業技術部会・産業歯科部会

**プログラム**

10:00-12:00 一般演題

12:00-12:30 地方会総会 学会長挨拶

13:30-14:30 特別講演 1 「働く女性と産業保健」

山梨大学医学部附属病院産婦人科 教授 吉野 修 先生

14:35-15:35 特別講演 2 「AI を用いた先制医療と産業保健との共創」

山梨大学医学部社会医学講座 准教授 大岡忠生 先生

**前日企画 「360 度動画を用いた職場巡視体験実習」**

開催日時：10 月 25 日（土曜日）14:30～16:30 （受付開始 14:00）

開催場所：公益財団法人 健康管理事業団（山梨県甲府市宝 1 丁目 4-16）

※360 度動画を用いて 2 つの職場巡視を体験いただき、職場巡視アクションチェックリストも参考に、グループで良い点や改善点をまとめ、発表していただきます。

連絡先：第 68 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会事務局  
〒400-8551 山梨県甲府市徳行 5 丁目 13-5 山梨県医師会事務局  
TEL：055-226-1611 FAX：055-226-1614  
E-mail：info@yamanashi.med.or.jp

## 地方会事業から

当地方会では、近年、第 94 回日本産業衛生学会（2021 年、松本市）、第 33 回日本産業衛生学会全国協議会（2023 年、甲府市）を開催して参りました。また、長野県では北陸甲信越地方会総会を 2023 年に担当させていただきました。会員の皆様に喜んで頂けるプログラムを編成することは一苦労ですが、中でも実地研修に関する期待は大きいものを感じます。実地研修は、企業などを訪問し、現場における安全衛生管理の実情を見て学ぶ体験型の研修です。座学と異なり、実際の業務現場で行う研修は体感として学ぶ機会となり、非常に有意義なものです。日本医師会認定産業医研修の実地研修とも合わせて企画される傾向があり、医師会の研修機会としても期待が大きいところです。研修の企画段階においては、研修を受け入れてくださる企業を決める交渉過程が苦労します。期待にに応えるだけの十分な研修を提供できるだろうか、作業工程が稼働中の見学の受け入れは難しい、協力したいものの企業秘密の管理の観点から許可できない、など企業側の悩みの声がよく聞かれます。こうした交渉を重ねる中で、日々の嘱託産業医活動を行いながら、嘱託先企業における実地研修の受け入れも常に視野に入れながら活動を展開する必要があることを感じます。嘱託先企業との産業医活動を通じて、よりよい関係を構築してゆきたいと思うこの頃です。

（文責 塚原 照臣）

## 会員の取り組み



### 福井産業保健交流会の御報告

株式会社高山産業医事務所

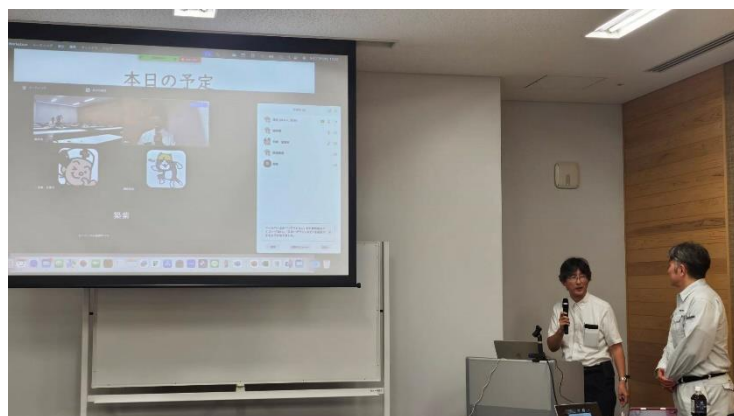
高山 英之

先日、2025 年 9 月 11 日にセーレンドームアリーナ会議室にて、福井産業保健交流会を開催しました。元々福井県は学会員も高齢化の影響で減少傾向が顕著でした。新たに入会される先生方もいらっしゃいますが、直接お会いする機会もない現状でした。福井大学

環境保健学の平工教授や北陸電力の白崎保健師らと何か良い機会はないかと考えておりましたが、昨年から交流会を開催することとしました。昨年は 2024 年 9 月に第 1 回の交流会を開催し現地・Web あわせ 11 名の参加をいただきました。会では平工先生から化学物質の健康管理についてのご講演をいただきました。新旧様々な先生方にご参加いただき貴重な時間を過ごすことができました。

本年も昨年同様 11 名の先生方にご参加いただきました。現地参加は 7 名・Web 参加は 3 名と昨年同様の参加者にお集まりいただきました。会では平工先生からご挨拶をいただいた後に、私高山から、「復職支援と両立支援のあれこれ」という内容でお話をさせていただきました。その後に日本産業衛生学会のイベントを中心に、産業衛生にまつわる会合・研修会について紹介させていただきました。新しく産業保健の分野に來られた方にもご参加いただければ、会の終わりには参加者の皆様で名刺交換なども行われ、交流会の目的が達成できたと感じました。

今回は平日の勤務時間中の開催としたため、医師の出席が難しかったようでした。各分野の方々にご参加いただきたいとおもっておりますので、次年度に向け諸々の課題を解決しながら、研修講師などでは各県の先生方の協力を得ながら定期的な継続を図っていく予定です。これからも御協力お願いいたします。





## 私たちの職場 富山県上市町総務課 保健師 佐々木 有紀

上市町は、富山県の東部に位置し、令和 7 年 4 月 1 日現在、当町の人口は 18,550 人ですが、役場の正職員数は 164 人です。富山県には 15 市町村ありますが、そのうち人事担当課（総務課）に保健師が配置されているのは上市町だけです。

臨時職員を含む約 280 人の健康管理を保健師（衛生管理者も兼務）と嘱託産業医が各々 1 人で担っています。まず取り組んだのは職員の健康状態や労働安全衛生体制の把握とその課題や改善の方向性を探ることでした。所属長会議や衛生委員会等で、定期健康診断と二次検査受診の重要性、過重労働や受動喫煙による健康への影響、メンタルヘルス等の労働衛生管理の基本の周知に努めました。そして、保健師による二次検査受診勧奨体制を構築し、令和 6 年度より運用に至っています。がん検診の二次検査該当者と特定保健指導の対象とならない複数のリスク要因がある職員を中心に保健指導を実施したところ、早期治療に結びついたケースや喫煙率が下がる変化がみられました。また、35 歳未満の女性職員の子宮・乳房検診の整備、新任職員面談、心の健康づくり計画の策定を行い、令和 7 年度は、労働安全衛生計画の作成と評価、健康課題や目標を見える化する作業に取り組んでいます。

現在、令和 8 年度からの職場巡視の充実を目指し準備中ですが、様々な部署の異動を経たうえでの本業務にはとてもやりがいを感じています。また、私の提案に対し、背中を押してくれる総務課長（統括安全衛生管理者）や人事担当者等の協力にはとても感謝しており、副町長に気軽に相談することができるのも助かっています。公務員は、特に自然災害時には自身の健康よりも住民対応を優先しがちなため、平時から心身を整えることの重要性を常に意識しています。優しさと強さを示すことのできる保健師でありたいと日々活動しています。



（写真 左側：小池義弘総務課長 中央：佐々木 有紀 右側：小竹敏弘副町長）

## 新人会員紹介



山梨大学社会医学講座  
特任助教  
花輪 大介

この度、日本産業衛生学会北陸甲信越地方会に入会させていただきました花輪大介です。市中病院勤務後、現在は山梨大学社会医学講座に所属し、研究・教育と並行して産業医活動を行っています。

本年 4 月、産業医科大学にて開催された産業医学

基本講座に参加する機会を得ました。これまで馴染みの薄かった産業保健の体系的な知識に触れ、労働者の健康管理と安全確保が社会全体の活力と直結することを改めて学びました。実務の中で自身の知識や経験不足を痛感する場面も多くありますが、臨床医学とは異なる視点やアプローチを学ぶことができ、今後のライフワークとして取り組んでいきたいと考えてます。

企業や労働者の方々と関わる中で、個々の生活背景や社会的要因を含めた包括的な健康支援の必要性を感じております。研究では、産業保健の知見を活

かし、実務に還元できる課題に取り組みたいと考えております。教育面では、産業保健の魅力と意義を伝え興味関心を持つ学生を増やせるように尽力していきます。

学会活動を通じて諸先生方から学びを得ながら、専門性を磨き、地域社会に貢献できる産業医を目指していきます。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 事務局から

### 理事会報告

○2025 年度北陸甲信越地方会 常任理事会

日時：2025 年 6 月 21 日（土）

会場：長野東急 REI ホテル（長野市）

▷役員変更のお知らせ

地方会長：櫻井勝

理事（新潟県）：小坂智恵子

### 今後の行事案内

○2025 年度北陸甲信越地方会 理事会（予定）

日時：2025 年 10 月 25 日（土）

会場：ホテル談露館（甲府市）

○第 68 回北陸甲信越地方会 学会・総会（予定）

日時：2025 年 10 月 26 日（日）

会場：こうふ亀屋座（甲府市）

内容：一般演題発表、特別講演

### 訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○平井一芳先生（福井県）

ただければ幸いです。

なお、本号より新規の編集委員長として塚原照臣先生、副編集委員長として西澤依小先生、編集委員として室野奈緒子先生が着任となりましたので、この場を借りて報告させていただきます。森河裕子前編集委員長、池田裕子・佐藤一博前編集委員にはニュースレター創刊時より発行にご尽力をいただき、誠にありがとうございました。

今後も地方会員の皆様の活動や取り組みを広報して参りたいと思います。ご意見やご感想などございましたら編集委員までお寄せ頂けると幸いです。

### 編集委員（五十音順）

編集委員長：塚原 照臣

副編集委員長：西澤 依小

編集委員：稲寺 秀邦、遠藤 和男、  
小坂 智恵子、高山 英之、  
角田 ひろみ、松永 康弘、  
丸山 猛士、室野奈緒子

事務局：水木将

## 編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第 17 号を発行することができました。本号では、地方会長就任挨拶、本年度の総会で表彰されました中川先生、野見山先生の各報告、第 68 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会の開催告知、各県の皆様の活動等をお知らせいたしました。発行に際してご協力、ご尽力いただきました先生方へ改めて感謝申し上げます。

今年度の地方会総会は山梨県甲府市で開催されますので、会員の皆様にはぜひ足をお運びいただき、ご参加をお願いさせていただければ幸いです。あわせて、日本産業衛生学会北陸甲信越地方会の引き継ぎの発展のためにぜひ皆様のお力添えを引き続きい

